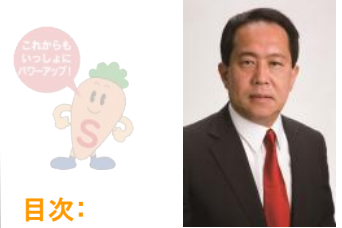




発行者 静岡県議会議員  
鈴木すみよし事務所

2012年2月議会号  
発行日 2012. 3. 31

タイトル写真左から、「富士南地区たこ揚げ」「富士商工会議所賀詞交歓会」「2月議会開会」



目次:

1. 2月議会を振り返って P1
2. 県事業のお知らせ P1
3. 所属する「くらし環境委員会」での質問項目 P2
4. 2月議会における注目の論戦 P2
5. 視察報告 P3
6. 県が掲げる県民幸福度の最大化に向けた重点項目とは P4
7. 富士地域政策課題と進捗状況 P4
8. ホットなニュース P4
9. 県政相談窓口 P4

ハイライト:

- ・スピード感のある行政運営と「総合計画」の前倒し
- ・県の優先課題は「防災対策」と「未来戦略」
- ・東日本の復興のために、今静岡県民が出来ること
- ・注目の論戦「副知事人事」の行方
- ・「県民幸福度」の最大化
- ・図上防災訓練の効果と期待
- ・富士山世界文化遺産登録と新東名高速道開通

## 1. 2月議会を振り返って(2/21~3/16)

2月議会は、平成24年度予算審議が主な議案で、当初予算概要は、一般会計が1兆1,306億円(昨年比0.2%減、マイナス18億円)、特別会計4,182億1,400万円、企業会計562億7,700万円で、合計1兆6,050億9,100万円(全体では前年比2.5%増、プラス389億3,500万円)となります。

知事は、平成23年2月23日に公表した静岡県の総合計画(富国有徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン)の実現が「10年後の完成を目指すとしているが、早期実現のために前倒しで実行していく」との強い意志を示しました。とはいえ、東日本大震災や円高など、社会経済情勢の悪化は行政運営に大きな支障をきたすものであり、早期実現のためには常に施策の評価を行い、見直しを図りながら効果的かつ効率的な県政運営に務める必要があります。そこで、基本計画に掲げる全ての施策の実績や数値目標の達成状況をもとに、有識者、県民、議員から意見を募り、計画の評価を実施し、「ふじのくに”づくり白書」として公表しました。評価結果はおおむね順調となっていますが、議会として検証していく必要があります。

白書では、県が重点的に取り組む

施策を幅広く周知し、「行政の透明性」を高め、県政に対する理解や関心を深め、県議会、県民、市町の連携と協働により、「県民幸福度の最大化」を目指すとしています。

ここで示された内容は非常に重要です。「県民幸福度」という表現は昨年来日された、ブータン国王が引用されていたもの(国民幸福度)と記憶していますが、静岡県に当てはめたものの、「幸福度の提議」はどのようなものか、どう作り上げていくものか、県民がどう関わっていくか明らかにしていく必要があります。大切なことは、県民自身が「幸福」と感じるかどうかです。また、「県民や市町と連携しなければ実現できない」といっているところも重要な課題です。

その他の議案内容は以下の通りです。

「雇用対策」、「少子化対策」、「地震・津波対策」、「エネルギーの地産地消」、「内部フロンティアの魅力あるまちづくり」、「危機管理」、「富士山世界文化遺産登録」、「静岡空港」、「観光交流」、「地域外交」、「戦略物流」、「新産業創出プロジェクト」、「企業誘致」、「食と農の改革」、「安心医療の提供と健康づくり」、「障害のある方の自立と社会参加」、「長寿社会の実現」、「インフラ整備」、「森林林業再生」、「警察行政」、「教育行政」および「行財政改革」等を審議しました。

## 2. 県事業のお知らせ

### ① 「静岡県地域防災計画」

共通・地震・津波・原子力災害・火山災害・風水害・大火災・大規模事故の各対策があり、国に合わせ現在見直しを実施中。



### ② 静岡総合研究機構「静岡県の未来戦略」

静岡県に特化したシンクタンクで、多くの有益な提言がある。24年度には県立大学内から再出発。





「家・庭一体の住まいづくり」事業は、知事提案の目玉事業であったが、費用対効果で問題ありとして、県有地の定期借地権化は撤回された。

市議時代は廃棄物処理について県の権限が見えなかった。県廃棄物担当委員会に所属し、市と県の橋渡しである県議の責務が重要と感じた。



上の写真は一年間所属した「くらし環境委員会」が開催されている様子。私の席は6番で写真右の端。奥は答弁する県職員達。約50人くらい。



津波対策を進めている中部電力浜岡原子力発電所を再視察し、所長以下から詳細な説明を受けた。企業努力は評価するも、第三者評価機関などの後ろ盾が見えない。

知事権限の行使か暴走か。事前協議は不用で公の場で議論すればよいというが、過半数を保持する会派は、議会軽視と反発。円滑審議の条件とは

### 3. 所属する「くらし環境委員会」での質問項目 (●は当局答弁概要)

所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。

- (1)くらし環境部組織改正について、改正の目的と効果は
  - エネルギー政策を根本から見直し、庁内横断的に機能させることが主眼
- (2)静岡県環境影響評価条例の一部改正
  - 中央新幹線の課題などに対処するため、早めの条例改正を目指す
- (3)静岡県消費者行政活性化基金条例の一部改正による効果
  - 放射性物質に対する知見・情報を扱える核となる人材育成などを想定
- (4)東日本大震災に関する被災者受け入れにおける就業支援について
  - 就職情報は全国で一元化されこれらを活用し被災地でも就業支援が可能
- (5)NPO施策の推進におけるNPOへの期待
  - 独自性、独立性を保ちながら、企画から参加し新しい公共の担い手を期待
- (6)男女共同参画施策の推進における企業対策
  - 企業規模／業種などによる参加状況を分析し、さらなる推進に活かす
- (7)家・庭一体の住まいづくりの推進(定期借地権の普及についての課題)
  - 借りての消費者対策は進行。土地所有者対策は不十分で配慮が必要
- (8)住宅リフォーム支援事業(県産材の普及と耐震化の促進)
  - 県産材使用補助は規定の面積を下げるなど条件の緩和。高齢者がいる世帯の耐震化を優先するため、県産材を使用しなくても補助を可能とする
- (9)東日本大震災により生じた災害廃棄物の受け入れ(県民の理解と風評対策)
  - 県民の一番の心配は「放射性物質」であり、県としては独自に細やかな測定を行い、随時県民にホームページやマスコミを通じて公開
- (10)東海地震に係る最終処分場候補地について(県が示した候補地の根拠は)
  - 県・市とも選定基準は変わらず。事業主体は県ではなく、あくまでも市町なので、選定場所は市町に委ねることになる(県は予備として候補地を選定)

#### ① 東日本大震災がれき受け入れ(その2) ② 浜岡原発の再開はどうなる(その2)

上記3. (9)でも触れたが行政の立場で可能な限りの安全対策は議論されているが、「受け入れ拒否の結論ありき」への対応に苦慮。背景には行政不信が大きい。

津波対策は海拔18m防潮堤設置、それを超えた場合の防水対策、高台への多重化非常用電源と冷却水貯蔵施設を設置。しかし、三連動地震の影響未確定が不安。

### 4. 2月議会における注目の論戦(副知事人事案)

2月議会の最終日に、知事から副知事を3人任用したいとの議案が上程された。しかし、「行革を進めている最中、今まで2人(厳密に言えば昨年末まで2人で、うち1人が総務省に帰任し、予算編成の追い込み時期に岩瀬副知事1人でこなしてきた)で担ってきたこともあり、優秀な部長達がいるので3人でなくても十分こなせるのではないか」という主張や、「知事が言うように総合計画の前倒しや、防災対策に十分な力を発揮するために3人は必要」と意見は賛否分かれたが、投票により議会は否決した。このままでは4月から副知事が不在となることから、知事は再度人事案を練り直し、4月中旬の臨時議会で再審議することになる。知事は国から県に出向する人事は避けたいと言うが、現状は避けられそうもない。



## 5. 視察報告

### 議会改革(三重県議会「一問一答方式」・神奈川県議会「議員発議条例づくり」)



三重県議会の2月議会本会議を傍聴した。議会改革において一問一答方式の導入など先進的取り組みを視察。



三重県議会本会議場で、当局に一般質問する議員。三重県議会では、質問者が知事および当局を向いて質問する。



神奈川県議会が議員発議で制定した「商店街活性化条例」の冊子。内容はコンビニなど大手小売店も商店街に加入。



議員発議条例を制定した経緯を説明する、神奈川県議会議員および神奈川県の職員。静岡県議会も24年度に準備。

### くらし環境委員会関連事業視察(県内)



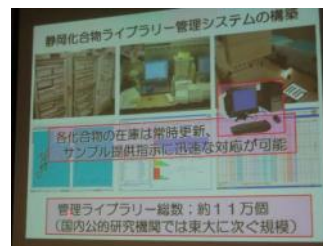
缶詰工場から排出された残さをバイオエネルギー源として活用する企業を訪問。



県営団地の建て替え状況を視察。全て新築するのではなく、部分改修により賃料を低く抑えるなど利用者の便を図る。



県の環境衛生科学研究所では、富士山周辺の地下水脈の調査研究を実施。地下水の保全と有効利用に役立てる。



県静岡化合物ライブラリー。薬品化合物に関するデータベースで薬品開発にとって最重要情報のひとつ。国内第2位。

### 静岡／山梨県議会議員合同研修会・男女が共に創るしずおか議員連盟視察(県内)



静岡県・山梨県の富士山周辺を居住区とする県議会議員の合同研修会。富士山世界遺産登録活動の一環。(ロゼにて)



富士山の女神と「かぐや姫」と題した、合同研修会における基調講演。静岡産業大学特任教授の中村羊一郎先生。



(株)ホト・アグリ代表の岩井万祐子さん。元浜松ホトニクスの子社員で、光技術を応用し農業へ。障害者・女性雇用に運営。



認定こども園「あそびこども園浜松」。働く母親の立場で運営し、施設の職員も子育てしやすい職場環境を重視し運営。

### その他(山部赤人碑移設・知事富士地区視察・陸上自衛隊北部総監訪問・シンガポール経済開発庁訪問)



山部赤人の碑はかつて田子の浦港のフェリー乗り場近くにあったものを、ふじのくに田子の浦みなと公園に移設した。



今年度から始まる「移動知事室」を試行的に富士市内で実施。知事とともに岳南鉄道富士岡駅まで同行した。



北海道札幌市にある陸上自衛隊北部方面隊の千葉総監を訪問。東日本大震災の支援や防災対策について情報収集。



シンガポール政府経済開発庁(EDC)副次官、Tan Choon Shian氏を訪問。シンガポールの経済戦略を伺った。

## 6. 県が掲げる県民幸福度の最大化に向けた重点項目とは(“ふじのくに”づくり白書から)

### 1. 家・庭一体の住まいづくり

○ 新しい住まい方の提案

○ 移住・定住の促進

住んでよし  
訪れてよし

### 2. 観光交流人口の倍増

○ 富士山世界文化遺産登録の推進

○ 中国との交流の深化

### 3. 出生率の向上

○ 待機児童ゼロ作戦(保育所整備)

○ こども医療費助成の拡充

生んでよし  
育ててよし

### 4. 地域医療の再生

○ 医師確保対策の推進

○ 家庭医養成プログラム

### 5. 創造力を生む「学びの舞台」の展開

○ ふじのくに子ども芸術大学の開講

○ 多様な体験活動の一層の推進

学んでよし  
働いてよし

### 6. 新たな産業のフロンティア開拓

○ ふじのくに食の都づくり

○ 物流立国“ふじのくに”の実現に向けて

## 7. 富士地域政策課題と進捗状況(津波防災訓練をDIGにて実施。元吉原・今泉)



防災訓練は部屋の中、会議室でも可能。地域の危険箇所や救援情報などを地図上に記すことで住民同士が確認できる。



元吉原地区のDIG(図上訓練)の様子。吉原駅周辺では田子の浦港の開口部に隣接し、津波対策は他よりも深刻。



訓練会場の一つ、元吉原まちづくりセンターの玄関に掲示された、海拔表示。コストをかけずに効果的な防災情報。



吉原駅南側の公園に設置された避難タワー。富士市内では、4カ所の設置が予定されている。

## 8. ホットなニュース

### ◆ 富士山世界文化遺産登録への正念場の年

1月27日に遺産登録について推薦書が国からユネスコに提出された。今年度はユネスコの諮問機関(イコモス)が、夏頃に現地調査する予定。また、「富士山世界遺産センター」の設置に向け準備が始まる。県内の富士山周辺市町は誘致合戦に熱が帯びてきた。でも、富士市は遅れ気味。



今泉地区におけるDIG(図上訓練)の様子。依田橋地区では避難路沿いに古い建物が散在し、課題が明確になった。



訓練日は3月11日。今泉まちづくりセンターに掲揚された半旗。多くの犠牲を無にしないよう願うばかりである。

### ◆ 新東名高速道路が4月14日開通

四半世紀を要した「新東名高速道路」は4月14日に開通する。御殿場から三ヶ日までの約160kmで、これだけの距離が一度に開通することは希。非常時には現東名高速の災害への脆弱性を補い、平時は新たな物流インフラとして経済活動に大きな期待がかかる。地震津波に強い新たな内部フロンティアとして都市創造の幕開けとなる。

### ◆ 2月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 登記の事務・権限等の地方への移譲に反対する意見書
- ② 非正規の短時間労働者への厚生年金と健康保険の適用拡大
- ③ 一般用医薬品のインターネット等販売の規制緩和
- ④ 若者雇用のミスマッチ解消を求める意見書
- ⑤ 富士山の世界文化遺産登録に関する意見書 他1件

## 9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査いたしますので、区別なくお気軽にお問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもご返事いたしますが、お時間がかかることもあります。その際には、ご容赦下さい。



発行者 静岡県議会議員  
鈴木すみよし事務所

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先  
富士市比奈1418番地の2  
Tel 0545-34-0683  
Fax 0545-38-0070  
メールアドレス: himena@tokai.or.jp  
ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>  
ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>